2012年9月4日（火）1面に弊社の記事が掲載されました。

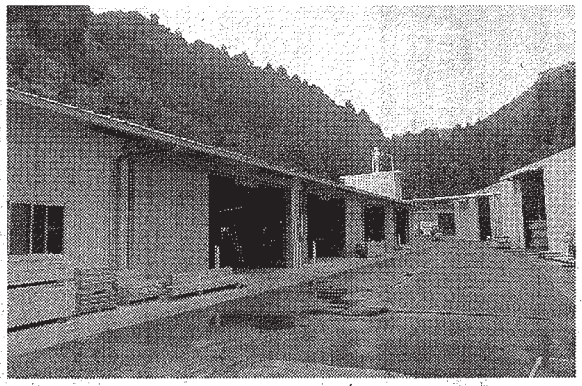
日刊木材新聞　【昭和22年3月22日第3種郵便物認可】【日刊（日・月と祝休日の翌日休刊）】　第17163号

船明の柱材プレカット新工場が操業

スカイ

豊岡など5工場の安定体制に

スカイ（静岡県磐田市、高橋幸嗣社長）は、浜松市天竜区の同社船明（ふなぎら）拠点にプレカット新工場となる「船明柱工場」を新設し、新設1ラインと既設工場からの移設4ラインを集約、このほど本格操業した。また本社隣接の豊岡第2工場には金物在来両対応の構造材加工ラインを増設した。これで同社は2エリア5工場へのライン集約と再編強化が完了し、常時月間1万2000坪の安定した加工体制を整えた。



柱材加工5ラインを有する船明柱工場

新工場は、敷地6543平方㍍に4つの工場棟（建物面積462平方㍍）と倉庫等で構成し、豊岡第2工場から移設した柱材加工の4ライン（宮川工機製）と新設の1ライン（同、MPS―34K）を配置した。加工能力は従来比で約30％向上し、1時間当たり40坪の加工ができる。月産では約900坪を見込んでいる。

一方、豊岡第2工場の空いたスペースには柱・横架材兼用の構造材加工ラインとしてMPS―VXシリーズと全自動多種加工機MPS―54（同）を新たに導入し、増加している金物工法物件への対応力を高めた。

昨年から進めてきた工場再編計画だが、これで豊岡エリア（本社工場、豊岡第2工場）と船明エリア（羽柄工場、合板工場、柱工場）の計5工場体制が確立した。また、全工場で材料ラックを増設するなど出荷ヤードを整備して出荷機能と体制の強化を図った。

情報処理・管理面では、工場間で瞬時にCADや設計データをやりとりできる新転送システムや、リアルタイムで各工場の加工物件の進捗状況が把握できる配送管理システムを自社開発して導入し、大幅な効率化と合理化を図った。このほか、全工場に省エネで長寿命な無電極照明（約260個）を導入し、節電対策を実施した。

2エリア5工場体制の確立を受け、同社ではプレカット事業のさらなる安定供給に取り組む方針だ。高橋社長は「加工品質、精度、納期といったすべての面の安定化が重要と考えている。デリバリー機能も強化し、住宅資材の総合商社を目指す」と話した。

日刊木材新聞
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1カ月 6,000円

©日刊木材新聞社 2012
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

知識の苗木を育てます
木材建材ウイクリー
Japan Lumber Reports

AMAZON JARRAH
アマゾンジャラ
マニルカラ・マサランデュバ
(株)ランバージャック
TEL. 0533-88-5266
FAX. 0533-88-6711